

中学校第2学年 社会科

⑭奈良県が我が国の政治や文化の形成に果たした役割について考えてみよう

学習のねらい

- 和（倭）の文字を通して古代において大和国（奈良県）が我が国の形成に果たしていた役割の大きさに気付く。
- 我が国発祥に関わるものが奈良県には数多くあることに気付かせ、郷土に対する誇りを育む。
- 文献などの歴史学習に関わる様々な資料の中から、必要な資料を選択し活用することで学び方を身に付ける。

郷土の資源について

「和」（ヤマト）という言葉は、古代において、現在の奈良県辺りを表すものであるとともに、我が国全体を表していた。現代において使用されている「和」（ヤマト）を使った言葉には、我が国の文化を表すものとして「和服」「和食」「和風」などのものが数多くある。また、奈良県内には、仏教の伝来、墨など我が国の発祥に関わるものも多くある。これらのことから、我が国の政治や文化の形成に奈良県が果たした役割の大きさに気付かせ、地域に対する誇りを育むことができる考える。



学習指導要領上の位置付け

歴史的分野 歴史のとらえ方 及び 古代までの日本

学習の流れ

1. 古代において「和」がどのような意味で使われていたか、そして、現代の日本において「和」を用いた言葉にはどのようなものがあるかについて調べる。

1 時間

2. 奈良県内にある我が国の発祥に関わるものについて調べる。

1 時間

3. 我が国の政治や文化の形成に奈良県が果たした役割について発表する。（本時）

1 時間

展開例（本時3 / 3）

	学習活動	指導上の留意点 （※評価規準）	備考
導入	○中国の書物に倭（和）についてどのような記述があるか確認する。	・前時までの学習内容を振り返らせる。	・「魏志倭人伝」等の資料
展開	なぜ、古代において「和」（ヤマト）は我が国全体又は奈良の地を表す言葉として用いられたのか		
	○古代に関わる大和政権に関わる学習内容を理解する。	・古代に関わる大和政権に関わる学習内容を活用させる。	・教科書
	○和（やまと）を使った言葉にどのようなものがあるか調べる。	・「和風」「和食」「和服」など、日本を意味する文化的概念を表すものであることに気付かせる。	・資料及びインターネット
	○日本人及び精神を表す言葉としてどのようなものがあるか調べる。	・「大和民族」「和人」「倭人」「大和魂」など「大和」「和」「倭」（やまと）という言葉が使われていることに気付かせる。	・資料及びインターネット
まとめ	○我が国の発祥に関わるものとして奈良県内にどのようなものがあるか調べる。	・藤原京、仏教の伝来、飛鳥寺、墨、相撲等があることに気付かせる。	・奈良県及び県内市町村を紹介する資料
	○奈良の地が我が国の政治や文化の形成に果たした役割について発表する。	・郷土奈良に対して再認識させ、誇りをもたせる。 ※奈良の地が我が国の政治や文化の形成に果たした役割を理解している。	

発展的な学習の例

夏休みの課題として、自分が居住している地域において、我が国の政治・経済・文化等の形成に関わる史跡や文献等がないか調査し発表させることが考えられる。